

浦和大学発

研究レポート

□2□

世界の人々が抱える「水問題・危機」とは何でしょうか。具体的には次の点が指摘されています。①人口の増加や生活水準の向上に伴って、水の使用量が増加し、水が不足していること。②水が汚染され、安全で安心な飲み水を手軽に利用できるなくなっていること。③干ばつ、洪水、高潮など水関連の災害により多くの人が死亡し、多額の被害もたらされていること。

日本では暮らしていると、世では水問題が深刻だと聞か

す。水くみは女性か子どもの仕事です。水くみ労働だけに毎日何時間も費やすことになり、安全な水が容易に得られる社会が実現すると、子どもは学校に行くことができ、女性もさまざまな職業に就くことができます。その結

果、子どもの識字率が改善され、女性の社会進出も促進され、経済発展にもつながると

いいます。ただ、人は社会経済的なグローバル化の進展に伴い、国やより狭い地域の問題が世界的な影響を及ぼすようになっていきます。一

まず、小麦1キを生産するた

めに必要な水は約2千リットルです。地球全体としては十分な水は太陽エネルギーによって循環している再生資源であり、枯渇することはありません。地球全体としては十分な水は太陽エネルギーによって循環している再生資源であり、枯渇することはありません。

大友 秀明 小子ども学部学校教育学科特任教授

地球の「水問題・危機」

「水は文化のバロメータ」と言われるほど必要不可欠の資源です。

水はローカルでしか利用できない資源です。そのため、

水問題の影響は地域的な範囲にとどまっています。しかし、

水は太陽エネルギーによって循環している再生資源であり、枯渇することはありません。

水は太陽エネルギーによって循環している再生資源であり、枯渇することはありません。



おおもと・ひであき 筑波大学大学院博士課程教育学研究科単位取得退学。埼玉大学教育学部教授、東京学芸大学大学院連合学校教育研究科教授(兼任)を定年退職、埼玉大学名誉教授。専門は社会科教育の理論的・歴史的・実践的研究。